

番号	達成目標	支援内容
1	朝や帰宅時に自分から身だしなみを確認できるようにする。	朝や帰宅時の身だしなみを本人と一緒にチェックし、自分から確認できるまで根気よくサポートする。
2	小さな体調の変化にも自信を持って伝えられるようになる。	日々の健康観察を通じて、体調の小さな変化にも自信を持って伝えられるような声かけと雰囲気づくりを行う。
3	洗面やうがいを正しい手順で自立して行えるようにする。	洗面やうがいの手順を視覚教材や実演で丁寧に伝え、毎回本人が自分で確認できるように促す。
4	準備表やチェックリストを見ながら、身支度や帰宅準備が自分でできるようになる。	準備表やチェックリストを活用し、自分で身支度や帰宅準備ができた時は具体的に誉めて達成感につなげる。
5	衣類のたたみ方や片付け方を身につけ、整理整頓を習慣化する。	衣類のたたみ方やしまい方を繰り返し実践し、成功体験を積み重ねて習慣化につなげる。
6	食事の準備や後片付けを自分で進んでできるようになる。	食事の準備や後片付けの手順を分かりやすく伝え、役割を持たせて毎日少しずつ自立を目指す。
7	生活リズムの乱れに気づき、自分で調整しようとする意識を持つ。	生活リズムの乱れに気づいた時は一緒に理由を振り返り、目標や翌日の工夫を話し合う。
8	日課やスケジュールを守り、見通しを持って生活できるようになる。	日課ボードやスケジュールを本人と一緒に使い、守れた日は具体的に誉めて振り返る場を作る。
9	トイレ後の手洗いなど衛生的な習慣を忘れずに行えるようになる。	トイレ後の手洗い等、身近な衛生行動をイラストやチェック表で確認しながら繰り返し習慣づける。
10	毎日の持ち物準備や帰宅前の持ち物確認を自分でできるようになる。	持ち物リストを作成し、毎日の準備や帰宅前の確認を一緒に行い、少しずつ自立を促す。
11	活動の合間に自分で準備や片付けを行い、段取り良く行動できるようになる。	活動の合間に準備や片付けの声かけを行い、できた時はその場で評価し行動の定着を目指す。
12	衣服の汚れや不快感に気づき、適切なタイミングで着替えられるようになる。	衣服の汚れや不快感に本人が気付いた際は、着替えのタイミングや方法を一緒に考え自己判断を促す。
13	適切な食事量や食材の選択を自分で考えられるようになる。	食事量や偏食に関しては本人の意見も聞きつつ、栄養バランスや量の調整を一緒に考える場面を設ける。
14	健康や睡眠・食事の大切さを理解し、日々の生活に活かせるようになる。	健康や睡眠・食事の大切さを絵本や日常会話で楽しく伝え、本人の意識を自然に高めていく。
15	公共の場や集団での衛生マナーを守り、場面に応じて行動できるようになる。	公共の場や集団での衛生マナーを絵カードやロールプレイで練習し、成功体験を増やして自信に繋げる。
16	運動後や汗をかいた時など、必要に応じて自分で着替えや清潔の保持ができるようになる。	運動後や汗をかいた時に着替えやタオル使用を習慣化できるよう、本人のペースに合わせて見守る。
17	季節や天候に応じて衣服選びや体調管理が自分で判断できるようになる。	季節や天候に応じた衣服選びや体調管理の大切さを実際の場面で説明し、正しい判断を支援する。
18	予定や目標を自分で把握し、達成感を得ながら生活できるようになる。	その日の予定や目標が見える化し、一緒に振り返ることで生活の見通しを持たせる。

19	健康や生活習慣についての興味や関心を持ち、自発的に学ぶ姿勢を身につける。	健康や生活習慣についての興味関心を広げられるよう、絵本や話題を日常的に取り入れる。
20	体調や気持ちの変化を自分の言葉やカードで表現できるようになる。	体調や気持ちの変化を言葉やカードで表現できるよう、毎日短い対話を積み重ねる。
21	活動後に手洗いや整理整頓を自分で言い、習慣化できるようになる。	活動後の手洗いや整理整頓を一緒に実践し、できた時はその都度具体的に誉めて自信につなげる。
22	ボタンやファスナーの操作が自分でできるようになり、身の回りのことに自信を持つ。	ボタンやファスナーの練習を遊びの中に取り入れ、苦手な動作は段階的に支援する。
23	荷物や持ち物の片付けを習慣化し、決まった場所に整理整頓できるようになる。	荷物の片付けや整理整頓を日常化できるよう、決まった場所を一緒に確認し定着を目指す。
24	次に何をするかを自分で考えて行動に移せるようになる。	次に何をするかを本人と一緒に確認し、見通しを持たせて自発的な行動をサポートする。
25	天気や行事に合わせて必要な準備ができ、持ち物チェックも忘れず行えるようになる。	天気や行事に応じて必要な準備と一緒に考え、持ち物チェックも定着するよう日々取り組む。
26	帰宅前に忘れ物なく持ち物確認ができるようになる。	帰宅前の持ち物チェックを毎日本人と一緒に言い、忘れ物が減るよう声かけとフィードバックをする。
27	活動や状況に合わせて必要な道具や服装を自分で準備できるようになる。	活動ごとに必要な道具や服装と一緒に準備し、段階的に自分でできる場面を増やす。
28	集団生活や外出の場でも基本的な生活習慣を継続できるようになる。	外出時や集団生活の場でも基本的な生活習慣が継続できるよう、日々の振り返りや声かけを徹底する。
29	身の回りの整理整頓や清掃に自分から取り組めるようになる。	身の回りの整理整頓を一緒に言い、自分で気づいた改善点は積極的に認めて励ます。
30	体調管理表や健康カードを自分で記入でき、健康管理の意識を持てるようになる。	体調チェック表や健康カードの記入を本人のペースでサポートし、健康管理の意識を育てる。
31	体調がすぐれない時や困った時に、安心して職員へ相談できるようになる。	体調がすぐれないと感じた時は無理をさせず、安心して職員に相談できる環境を整える。
32	食器やごみの片付けを自分から積極的にできるようになる。	食器やごみの片付けはルールを明確にし、実際の場面で一緒に確認して定着を目指す。
33	家庭や施設のルールを守る意識を持ち、継続して実行できるようになる。	決まった生活ルールを家庭とも連携して伝え、守れた時は必ず誉めるようにする。
34	気温や湿度の変化に気づき、衣服や水分補給のタイミングを自分で判断できるようになる。	気温や湿度の変化に合わせて声かけを行い、衣服や水分補給のタイミングも一緒に確認する。
35	寝る前の準備（歯磨き・パジャマの準備など）が自分でできるようになる。	寝る前の歯磨きやパジャマの準備をリスト化し、毎日一緒に確認して習慣化を促す。
36	活動終了時刻や片付けのタイミングを意識し、自主的に行動できるようになる。	活動終了時刻や片付けのタイミングを伝え、本人が自発的に行動できた場面を認める。
37	水分補給のタイミングを意識し、適切な量を自分で取れるようになる。	水分補給のタイミングを日々声かけし、本人のタイミングで適切に行えるようサポートする。

38	1日の活動を自分で振り返り、良かった点を自分の言葉で話せるようになる。	毎日の活動を帰宅前に一緒に振り返り、本人の言葉で良かった点をまとめられるよう支援する。
39	曜日や日付ごとに持ち物や行動の準備が自分でできるようになる。	曜日や日付に応じた持ち物や行動準備を毎回一緒に確認し、自立に繋げる。
40	使い終わった道具を元の場所に戻す習慣が身につく。	使い終わった道具を元の場所に戻す習慣が身につくよう、その都度フィードバックを行う。
41	清潔と不潔の違いを理解し、適切な衛生行動を日常的に取れるようになる。	清潔と不潔の違いを実例を交えて伝え、衣服や食具の正しい使い方を繰り返し教える。
42	トイレのタイミングや行動の切り替えが自分でできるようになる。	トイレのタイミングや行動の切り替えをサインや声かけで促し、徐々に自立できるようにする。
43	行動を選択する場面で自分の気持ちや予定を言葉にでき、納得して決断できるようになる。	行動を選択する場面では、本人の気持ちや予定と一緒に確認し、納得感を大切にする。
44	整理整頓や物の管理方法を身につけ、自然に習慣化できるようになる。	整理整頓の必要性や物の管理方法を日々一緒に確認し、自然に習慣化を図る。
45	活動の切り替え時に次の準備に集中できるようになる。	活動の切り替え時に次の準備を声かけや視覚的な合図で伝え、集中できる環境をつくる。
46	脱いだ服や靴をきれいに整頓できるようになる。	脱いだ服や靴の整頓を本人と一緒に確認し、できた時は小さな成功体験として認める。
47	靴の向きや整え方など細かな配慮が自然にできるようになる。	靴の向きや整え方など細かな配慮を日常のやりとりで自然に伝え、気づきを促す。
48	手洗いやうがいの意味を理解し、意欲的に取り組めるようになる。	手洗いやうがいの目的をクイズや会話で楽しく伝え、行動の動機づけを大切にする。
49	活動内容や状況に応じて服装や道具を選び、必要なものを自分で用意できるようになる。	活動内容に応じた服装や道具の準備を一緒に行い、できたことは必ず具体的に評価する。
50	日々の小さな成長や自信につながる出来事を自分で感じられるようになる。	日々の小さな成長や自信につながる場面を本人に伝え、自尊感情を高める。

番号	達成目標	支援内容
1	鉛筆やクレヨンを正しい持ち方で使えるようになる。	鉛筆やクレヨンの持ち方や筆圧を確認し、手を添えて練習できるように声かけする。
2	ハサミを安全に使い、線に沿って紙を切れるようになる。	ハサミの使い方を一緒に確認し、安全な環境で少しずつ難易度を上げて挑戦する。
3	折り紙や紙を折る活動に楽しんで参加できるようになる。	折り紙や紙を一緒に折る活動に取り組み、簡単な折り方から段階的にステップアップする。
4	小さなパーツをつまむ、つけるなどの作業ができるようになる。	小さなパーツをつまむ遊びを取り入れ、できた時は必ず具体的に誉める。
5	ブロックや積み木を意図した形に組み立てることができるようになる。	ブロックや積み木で目標の形を作る課題を設け、イメージの共有と手順確認を一緒に行う。
6	ひも通しやビーズ遊びで手先を使った細かい動作ができるようになる。	ひも通しやビーズ遊びの材料を選ばせ、集中できる時間で自由に遊ぶ機会を設ける。
7	シール貼りやスタンプ押しを指先でコントロールできるようになる。	シール貼りやスタンプ押しの課題を準備し、手指を使った操作のコツを繰り返し伝える。
8	自分でボタンやファスナーの開閉ができるようになる。	ボタンやファスナーの練習を着替えや遊びの中で取り入れ、できた時には自信につなげる声かけをする。
9	お絵かきや塗り絵で枠からはみ出さずに色を塗ることができるようになる。	お絵かきや塗り絵で少しずつ枠の中に色を塗る練習を増やし、作品として認めて掲示する。
10	粘土やスライムを使い、好きな形を作ることを楽しめるようになる。	粘土やスライムで自由に形を作る活動を設定し、達成感や表現の楽しさを言葉で伝える。
11	全身を使って走る、止まるの動作をコントロールできるようになる。	安全な場所で鬼ごっこやリレーを取り入れ、スタート・ストップの合図を意識させて練習する。
12	ジャンプやケンケンができるようになる。	ジャンプやケンケン遊びを遊具やマットの上で行い、できた動作を繰り返し褒める。
13	平均台の上を落ち着いて歩けるようになる。	平均台やラインテープを使い、歩くペースやバランスを保つ工夫を一緒に考える。
14	片足立ちで数秒バランスを保てるようになる。	片足立ちの練習を遊びの中で取り入れ、達成できた時はしっかり認める。
15	マット運動で前転や転がる動作を楽しめるようになる。	前転やゴロゴロ転がる動作をマット運動で練習し、本人のペースに合わせて見守る。
16	大きなボールを投げたりキャッチできるようになる。	大きなボールで投げたりキャッチしたりする遊びを繰り返し、力加減も意識させる。
17	縄跳びの縄を回す・跳ぶ動作に挑戦できるようになる。	縄跳びを回す動作から始め、少しずつ跳ぶ動作に発展させていく。
18	跳び箱にチャレンジできるようになる。	跳び箱は低い段から始め、本人が「できた」と感じる経験を大切にする。

19	鬼ごっこなどの集団遊びでルールを守りながら走れるようになる。	鬼ごっこや集団遊びのルールを簡単に伝え、守れた時は言葉と態度で褒める。
20	坂道や階段を安全に昇り降りできるようになる。	坂道や階段の昇降を見守り、手すりや足元を意識させながら練習の機会を増やす。
21	腕立て伏せや腹筋など簡単な筋トレに挑戦できるようになる。	簡単な筋トレや体操をみんなで楽しく行い、挑戦する気持ちを育てる声かけを行う。
22	バランスボールやバランスディスクで体幹を鍛えられるようになる。	バランスボールやバランスディスクに座る体験をし、本人のペースで慣れる機会を設ける。
23	サーキット遊びに意欲的に参加し、様々な動きにチャレンジできるようになる。	サーキット遊びを通して様々な動きを楽しめるように環境を整える。
24	椅子に座ったまま体を揺らしたり捻る運動でリラックスできるようになる。	椅子に座ったまま体を揺らす運動やストレッチを行い、リラックスできる時間をつくる。
25	ラジオ体操や準備運動を指示通りにできるようになる。	ラジオ体操や準備体操を全員で行い、動きが合った時に声をかけて盛り上げる。
26	友達と協力しながらリレーやボール運びができるようになる。	リレーやボール運びでは役割を決めて協力する経験を重ねる。
27	リズム遊びで音楽に合わせて全身を動かせるようになる。	音楽に合わせて踊る・リズム運動を取り入れ、自由に表現できる場を設ける。
28	走った後にゆっくり歩いて呼吸を整えることができるようになる。	走った後のクールダウンも活動に組み込み、深呼吸やストレッチで体を整える声かけをする。
29	障害物を避けながらコースを進むことができるようになる。	障害物コースを設定し、どこをどう進むか本人と一緒に確認してから挑戦させる。
30	大縄跳びや集団運動に参加できるようになる。	大縄跳びや集団遊びは役割や順番をはっきり伝え、協調できた場面をしっかり評価する。
31	触感の違いを嫌がらずにいろいろな素材に触れられるようになる。	様々な素材に触れる活動を増やし、「気持ちいい」「おもしろい」など感想を引き出す。
32	音や光などの刺激に落ち着いて対応できるようになる。	音や光が強い場所では事前に伝えたり、耳栓やサングラスなど安心グッズを準備する。
33	苦手な音（チャイム、掃除機など）に少しずつ慣れることができるようになる。	苦手な音は無理せず段階的に慣れる場面を作り、頑張った時は励ましの言葉をかける。
34	不意な接触や大きな音があっても気持ちを切り替えて行動できるようになる。	突然の音や接触時には「大丈夫だよ」と伝え、落ち着くまで寄り添って支援する。
35	砂や水、土など様々な自然物に触れて遊べるようになる。	砂や水・土を使った遊びを設定し、ゆっくり時間をかけて慣れる機会を増やす。
36	感触遊び（スライム、粘土など）に積極的に取り組めるようになる。	スライムや粘土の感触遊びを「一緒にやってみよう」と誘い、嫌な時は無理強いしない。
37	バスタオルなどで体を包む感覚遊びを安心して受け入れられるようになる。	バスタオルで包む・重みを感じる遊びを安心できる環境で実施し、心地よさを言葉にする。

38	身体を揺らす、回るなどの動きにバランスをとって楽しめるようになる。	回転椅子やロープ遊びで体の動きやバランスを感じる遊びを取り入れる。
39	ブラシやローラーでの触刺激をリラックスして受け入れられるようになる。	ブラシやローラーの触刺激は事前に説明してから行い、終わった後に感想を聞く。
40	冷たい、温かいなど温度の違いに敏感になりすぎず対応できるようになる。	冷たい・温かいものを触る場面で「どんな感じ？」と聞き、安心して試せる雰囲気を作る。
41	におい・味の変化を受け入れ、食事や遊びの幅を広げられるようになる。	匂いや味の違いをクイズにして楽しみながら、少しずつ新しいものにも挑戦できるようにする。
42	重たいものや引っ張る動作に抵抗なく挑戦できるようになる。	重いものや引っ張る遊びをサーキットやゲームに組み込んで体験できるようにする。
43	身体の向きや手足の位置を意識して指示通りに動けるようになる。	身体の向きや手足の位置を模倣する遊びを取り入れ、正しい姿勢や動きを一緒に確認する。
44	風や振動など環境の変化に適応できるようになる。	扇風機やスピーカーなどで環境変化を感じる体験を安全に配慮して行う。
45	色々な素材や感触を使った工作活動を積極的に楽しめるようになる。	いろいろな素材で工作を行い、使った感触や違いを話し合う時間をつくる。
46	着替えや入浴などで肌に触れる感覚を嫌がらず受け入れられるようになる。	着替えや入浴時もゆっくりと声かけし、本人のタイミングで動けるように配慮する。
47	手足の強さを加減して道具を使えるようになる。	力加減を伝える練習を遊びに取り入れ、できた時は「ちょうどいいね」と声をかける。
48	バスタブやプールなど水に入ることを安心して楽しめるようになる。	水遊びやプールは事前に説明し、無理なく楽しめる環境で実施する。
49	大きな音や強い光から離れたい時に自分で伝えたり対処できるようになる。	大きな音や強い光が苦手な場合は静かな場所へ誘導し、落ち着ける工夫をする。
50	活動に合わせて適度に力を抜いたり緊張を和らげることができるようになる。	活動の始まりや終わりに深呼吸やゆったりした動きで心身をリラックスさせる。

番号	達成目標	支援内容
1	その日の予定やスケジュールを自分で確認し、見通しを持って行動できるようになる。	絵カードやスケジュール表を使い、活動前に一緒に予定を確認する時間を設ける。
2	課題や活動の順番を理解し、指示通りに取り組めるようになる。	活動の流れを短い言葉と視覚的なサポートで分かりやすく伝える。
3	始まりや終わりの切り替えがスムーズにできるようになる。	タイマーや合図を使って次の行動の準備ができるように促す。
4	自分の持ち物や道具の管理ができるようになる。	使い終わったら決まった場所に戻す練習を日々繰り返し、できた時は必ず誉める。
5	わからないことや困ったことを自分から伝えられるようになる。	困っている様子を見逃さず、「どうした？」と声をかけ、伝えやすい雰囲気をつくる。
6	間違えたり失敗した時も落ち着いて行動できるようになる。	失敗の後も「大丈夫」「やり直せるよ」と伝え、安心して再挑戦できるように支援する。
7	必要な時に集中して課題や活動に取り組めるようになる。	集中しやすい席や環境設定を工夫し、短時間でも集中できた時はすぐに誉める。
8	話を最後まで聞き、質問や指示に答えられるようになる。	簡単な質問やクイズ形式を取り入れて、聞く力を楽しみながら養う。
9	自分の考えをわかりやすく伝えられるようになる。	選択肢を用意したり絵カードを使い、自分の意見や気持ちを伝えやすくする。
10	ルールや約束事を守って活動に参加できるようになる。	ルールは短い言葉やイラストで視覚化し、守れた時は具体的に誉める。
11	「あと何分」と時間を意識しながら行動できるようになる。	タイマーや時計を用いて「あと何分」と知らせ、時間の感覚を養う。
12	課題や活動を最後までやり遂げる力を身につける。	課題や活動を途中でやめずに最後まで取り組めるよう声かけと支援を行う。
13	必要に応じて席を立ったり、体を動かして気持ちを切り替えられるようになる。	適度に席を立つ時間や運動の時間を設け、切り替えの練習を重ねる。
14	注意や集中が必要な場面で周囲に気を取られず取り組めるようになる。	必要に応じて集中しやすい机の配置や環境調整を行う。
15	自分の失敗を認めて、次にどうすればいいか考えられるようになる。	失敗した時は「どうしたら次にできるかな？」と一緒に考える時間を作る。
16	自分の役割や順番を理解し、守って行動できるようになる。	自分の順番や役割を説明し、守れた時は必ず具体的に褒める。
17	集団活動の中で友達の話をしっかり聞けるようになる。	集団活動中はアイコンタクトや合図を使って友達の話に集中できるよう促す。
18	目の前のことに集中しながらも、必要な時には周りの状況も意識できるようになる。	活動内容や状況を言葉やイラストで説明し、周囲への注意も喚起する。
19	新しいことに挑戦する意欲を持ち、失敗してもあきらめずにやり直せるようになる。	新しい活動の前には見通しを伝え、失敗してもやり直しを応援する。
20	活動や課題に自分なりの工夫やアイデアを取り入れられるようになる。	本人のアイデアや工夫を積極的に受け止めて、挑戦を後押しする。

21	複数の指示や説明を順番に理解し、行動に移せるようになる。	指示や説明は順を追って短く伝え、一つずつ確認していく。
22	静かにしなければならない場面で、周りに合わせて静かにできるようになる。	「今は静かにする時だよ」と短くわかりやすく合図する。
23	時計やタイマーを使って活動の時間管理ができるようになる。	タイマーや砂時計など見てわかる道具を使って活動の時間を意識させる。
24	困った時に「助けて」と自分から言えるようになる。	助けが必要な場面で「どうしたい？」と選択肢を示し、安心して伝えられるようにする。
25	課題を始める時に必要な準備や段取りを自分で考えて行動できるようになる。	活動開始時には一緒に準備や手順確認を行い、自分で考える場面を増やす。
26	終わった活動や使い終わった道具をきちんと片付けられるようになる。	片付けは決まった順序で行い、完了時に具体的に誉めるようにする。
27	やるべきことと遊びの区別をつけて、メリハリのある生活ができるようになる。	やるべきことと遊びの区別を明確に示し、切り替えの声かけを工夫する。
28	約束やルールが守れなかった時に理由を考えて次に活かせるようになる。	ルールが守れなかった時は理由や次の方法を一緒に考える時間を持つ。
29	新しい課題や活動にも前向きに取り組めるようになる。	新しい活動は成功体験を小さく積み重ね、段階的にチャレンジを増やす。
30	複数の情報を整理しながら自分の行動を決められるようになる。	複数の情報を視覚的に整理し、一緒に行動プランを作成する。
31	わからない時や間違った時に「もう一度やってみる」と自分で言えるようになる。	間違いがあっても再挑戦の機会を用意し、「やってみよう」と励ます。
32	忘れ物や失くし物を減らせるよう、自分で確認できるようになる。	持ち物ややることリストを一緒に作成し、日々確認する習慣をつける。
33	一度に複数の課題や作業を順序良くこなせるようになる。	複数の課題や作業は順番を一緒に確認しながら取り組む。
34	人の話を遮らずに最後まで聞くことができるようになる。	話し手へのアイコンタクトや合図を促し、最後まで聞く姿勢を育てる。
35	自分のミスを人のせいにならず、受け止めて行動を変えられるようになる。	ミスを責めるのではなく、どうしたら次に活かせるか考える時間を持つ。
36	必要な時に「トイレに行きたい」「おなかがすいた」など自分のニーズを言えるようになる。	本人のニーズを聞く場面を日常的に作り、言葉やカードで伝えやすくする。
37	時間や順番の感覚を養い、行動の見通しを持てるようになる。	時計や順番カードを使い、見通しが持てる工夫を行う。
38	ルールやマナーを意識して生活できるようになる。	ルールやマナーは絵やシンボルマークで視覚的に示す。
39	指示を一度で聞き取り、すぐに行動に移せるようになる。	指示を短くはっきり伝え、動き出しやすいタイミングで声かけする。
40	短い時間でも集中して取り組む場面を増やせるようになる。	集中できた時間や取り組みを一緒に振り返り、認める声かけを大切にする。
41	わかりやすい説明があれば自信を持って取り組めるようになる。	できたことを一緒に確認し、小さな自信につなげる支援を心がける。

42	振り返りの時間を持ち、自分の良かった点や課題を言葉にできるようになる。	終わった後の振り返りの時間を持ち、「よかった点」「頑張った点」を本人と共有する。
43	やるべきことを忘れずに実行できるようにメモやリストを活用できるようになる。	メモやリストを活用し、やるべきことを一緒に確認する習慣をつける。
44	グループ活動で自分の役割を理解して協力できるようになる。	グループ活動時は役割を明確にし、協力の楽しさを経験できる場面を増やす。
45	複雑な指示や複数工程の課題も一つずつ整理して取り組めるようになる。	複数工程の課題は図やリストで見える化し、一つずつクリアする経験を積ませる。
46	「自分にはできない」と思わずにまず挑戦してみる姿勢を持てるようになる。	まずは「やってみよう」と挑戦を促し、できたことは大げさに認めて自信をつける。
47	難しい課題に直面した時も最後まで取り組む粘り強さを持てるようになる。	難しい課題の時も「あと少し」「できることから始めよう」と小さな目標を設定する。
48	活動や課題が終わった後に気持ちを切り替えて次の行動に移れるようになる。	活動の切り替えや次の行動に向けて声かけと見通し提示を忘れずに行う。
49	新しい人や環境にも戸惑わず、徐々に慣れることができるようになる。	新しい環境や人に出会う前に説明や写真を見せて、安心感を持たせる。
50	自分の得意・不得意を理解し、うまく活かした行動選択ができるようになる。	本人の得意なことや好きなことを見つけて褒め、行動に活かせるように支援する。

番号	達成目標	支援内容
1	自分の気持ちや考えを大人に伝えられるようになる。	気持ちカードや「どうしたの？」の声かけで、話しやすい雰囲気を作る。
2	お友達と順番やルールについて会話しながら遊べるようになる。	遊びの前にルールを一緒に確認し、順番を譲る・主張する経験を増やす。
3	わからないことを「教えてください」と相手に聞けるようになる。	「わからない時は誰に聞く？」と日常的に練習し、質問しやすい雰囲気を作る。
4	集団の場で自分の意見を簡単な言葉で発表できるようになる。	みんなの前で発言する機会を作り、「〇〇くんはどう思う？」と問いかける。
5	相手の話を遮らず最後まで聞き、返事や相づちができるようになる。	会話ごっこやロールプレイで、聞く・待つ・答えるのやりとりを反復する。
6	表情やジェスチャーから友達の気持ちをくみ取れるようになる。	写真や絵カードで「今どんな気持ち？」と一緒に考える時間を持つ。
7	複数人の遊びの中で、相手の発言に合わせて返答できるようになる。	みんなでしりとりや質問遊びなど、返答を求めるゲームを実施する。
8	先生の話集中して聞き、わからなければ質問できるようになる。	「今の話わかった？」など、理解を確認する声かけと質問タイムを用意する。
9	困ったときや嫌な気持ちを友達や大人に落ち着いて伝えられるようになる。	気持ちを言葉やカードで表す練習と、「伝えてくれてありがとう」と受け止める。
10	グループ活動で役割分担を自分から話し合えるようになる。	役割決めるとき「どれをやりたい？」と聞き、一人ずつ発言できる場を作る。
11	遊びや活動中、相手と目を合わせて話せるようになる。	アイコンタクトの大切さを伝え、一緒に「目を合わせてご挨拶」を練習する。
12	日直や当番など集団の前で役割を発表できるようになる。	発表の練習を日常的に取り入れ、緊張を和らげる声かけとサポートをする。
13	お願いや頼みごとを分かりやすく相手に伝えられるようになる。	「お願いする時はどう言う？」と例を示し、ロールプレイで練習する。
14	言葉や身振りで「ありがとう」「ごめんね」を伝えられるようになる。	日常で感謝・謝罪の場面を意識的に取り入れ、伝え方をその都度一緒に考える。
15	聞き返しや確認を自分からできるようになる。	「もう一度言ってください」が言える練習や、確認しやすい雰囲気を作る。
16	家族や先生に連絡事項を正確に伝えられるようになる。	連絡事項を書いたカードやメモを本人に伝え、確認しながら練習する。
17	グループで話し合う際、自分の意見を順番に言えるようになる。	話し合いの場では順番を決め、一人ずつ発言できるように促す。
18	お友達とお互いの好きなことを質問し合えるようになる。	質問ごっこや好きなことリレーなど、楽しくお互いを知る場を作る。
19	活動の始まりや終わりに「お願いします」「おしまいです」と言えるようになる。	活動ごとに「始めます」「終わります」と声を出す役割を順番で与える。
20	指示を聞いて内容を理解し、実際の行動につなげられるようになる。	短い指示や分かりやすい言葉で説明し、わからない時はすぐ確認できる環境をつくる。

21	約束の時間や集合場所を相手に正確に伝えられるようになる。	予定表やスケジュールを活用し、大切なことを一緒に伝える練習をする。
22	「いいよ」「だめだよ」と自分の意思を穏やかに伝えられるようになる。	自分の意見を聞く前に「まず聞く」「次に話す」ルールを伝える。
23	大人の話や注意を一度で理解し行動できるようになる。	短い指示や一つのお願いに絞って伝え、できた時は具体的に誉める。
24	協力が必要な場面で相手に「手伝って」と伝えられるようになる。	困っている時に「どうした？」と聞き、伝えやすい雰囲気づくりをする。
25	遊びや作業中に「交代しよう」「一緒にやろう」と声をかけられるようになる。	「一緒にやろう」と声をかける練習をロールプレイや遊びで何度も繰り返す。
26	困っている友達に「どうしたの？」と声をかけられるようになる。	友達の困っている様子に気づいたら職員と一緒に声をかけ体験をする。
27	集団の中で自分にに関する質問に答えられるようになる。	自己紹介や「好きな食べ物は？」など、簡単な質問タイムを設ける。
28	友達とけんかした時に「いやだった」と自分の気持ちを言えるようになる。	けんかの時は気持ちを絵や言葉で表現し、相手の話を受け止める練習をする。
29	言葉やカードで「トイレに行きたい」「のどがかわいた」など自分の希望を伝えられるようになる。	日常のサインやピクトグラムを使い、「どうしたい？」を言葉と一緒に練習する。
30	遊びの中で友達の意見や希望を聞き、自分の意見と合わせて話し合えるようになる。	友達と希望や気持ちを話し合いながら遊ぶ機会を設ける。
31	大人に自分の得意なことや苦手なことを説明できるようになる。	大人と二人きりの時に「得意なこと・苦手なこと」を質問して会話を広げる。
32	話の内容や順番を正しく覚えて伝えることができるようになる。	会話をまとめる活動を通じて、伝え方を一緒に考える時間を設ける。
33	お願いや断りを相手に伝えるとき、ていねいな言葉づかいができるようになる。	ていねいな言葉づかいを日常会話やごっこ遊びで実践する。
34	先生や大人に自分からあいさつできるようになる。	あいさつの見本を見せて、一緒に声を出す練習を毎日続ける。
35	大人や友達の話の内容を簡単な言葉で要約できるようになる。	話を短くまとめて伝える練習を場面ごとに行う。
36	褒められた時や注意された時の言葉の意味を理解できるようになる。	褒め言葉や注意の意味を丁寧に説明し、やりとりの中で確認する。
37	みんなでの活動の中で自分の役割を言葉で伝えられるようになる。	自分の役割や活動の流れを言葉で整理する習慣をつける。
38	お話や絵本の内容を自分の言葉で話すことができるようになる。	読み聞かせやお話の後に、内容を自分の言葉で話す時間を作る。
39	友達や大人と一緒にクイズやしりとりなどの言葉遊びに参加できるようになる。	言葉遊びやゲームに誘い、一緒に参加して楽しむ雰囲気をつくる。
40	相手の質問に自分なりの言葉で返事ができるようになる。	質問の答えを考える時間を十分にとり、正解より考えることを大切にする。
41	身振り手振りも使いながら、より分かりやすく相手に伝えられるようになる。	身振り手振りも一緒に練習し、「伝わった！」を実感できるようにする。

42	電話や録音などの間接的なやりとりにも挑戦できるようになる。	録音や電話ごっこで間接的なやりとりも楽しみながら経験する。
43	お話し会や発表会で緊張せず発言できるようになる。	発表会やお話し会の前には十分なりハーサルとサポートをする。
44	伝えたいことがたくさんある時に、順序よく整理して話せるようになる。	伝えたい内容を紙に書いたり絵で描く工夫を取り入れる。
45	大人や友達からの指示を聞いて、「はい」と返事ができるようになる。	返事や「はい」の練習を日常の声かけで増やす。
46	他の人の意見や考えを一度受け止めてから自分の意見を話せるようになる。	他の人の意見をまず聞く場面を増やし、聞いてから話す流れを定着させる。
47	感謝や謝罪など大切な言葉を正しく場面に合わせて使えるようになる。	感謝や謝罪のタイミングを事例ごとに説明し、その都度実践を促す。
48	自分の趣味や好きなことを堂々と話せるようになる。	好きなこと発表や自由時間に、得意なことを人前で話す機会を設ける。
49	難しい言葉があった時に「どういう意味？」と聞けるようになる。	難しい言葉が出てきたらすぐに説明する・辞書で調べる活動を習慣化する。
50	自分の名前や年齢、住所などを正しく答えられるようになる。	自己紹介カードや発表タイムを設け、個人情報をもっと正しく伝える練習をする。

番号	達成目標	支援内容
1	友達の名前を覚え、あいさつや呼びかけができるようになる。	名札や写真を使いながら、友達の名前を意識して呼ぶ活動を増やす。
2	集団の中で順番やルールを守って活動できるようになる。	ルールが必要な遊びを選び、順番を守れた時に具体的に褒める。
3	友達の話や意見を最後まで聞き、受け止められるようになる。	グループ活動で発言の順番を決め、一人ずつ話す練習を重ねる。
4	困っている友達に気付き、自分から声をかけられるようになる。	「どうしたの?」と声をかけるロールプレイやお手伝い体験を増やす。
5	けんかやトラブルがあった時、落ち着いて自分の気持ちを伝えられるようになる。	トラブル時に一緒に気持ちを整理し、言葉やカードで表現する練習をする。
6	他の人の意見や考えを否定せず、一度受け入れてから自分の意見を伝えられるようになる。	グループでのディスカッションや、意見の違いを楽しむゲームを取り入れる。
7	集団活動の役割分担を自分から申し出られるようになる。	「どれをやりたい?」と役割を話し合いで決める場面を多く設定する。
8	グループで協力して一つの目標に向かって取り組めるようになる。	協力が必要なゲームや制作活動を取り入れ、達成感をみんなで味わう。
9	ルール違反やトラブルがあった時、自分から謝ることができるようになる。	「ごめんね」の伝え方をロールプレイし、謝ることの大切さを伝える。
10	自分と違う考えや行動をする友達を受け入れられるようになる。	みんな違っていいことを、絵本や日常の中で体験的に伝える。
11	集団での活動の際、時間や場所を守れるようになる。	活動の始まりや終わりに時間・場所の確認を行い、守れた時にしっかり褒める。
12	友達や大人とコミュニケーションをとりながら遊べるようになる。	ごっこ遊びや協力遊びで、言葉のやりとりや場面の設定を工夫する。
13	役割を決めて、順番を守って活動できるようになる。	役割カードや順番表を活用し、目で見て分かる工夫を行う。
14	仲間外れやいじわるが起こった時に「やめて」と伝えられるようになる。	「やめて」と伝える練習や、職員がサポートして安全な雰囲気を作る。
15	嫌なことがあった時、暴力や物に当たらず言葉で伝えられるようになる。	怒りを感じた時に深呼吸や安全な場所で落ち着く方法を教える。
16	グループの中で自分の役割を理解し、責任を持って行動できるようになる。	活動前に役割や責任について話し合い、自信が持てるように声かけする。
17	初めての友達とも自己紹介をして仲良くなれるようになる。	初対面の際は自己紹介カードやゲームを取り入れて関係づくりを支援する。
18	困っている友達や小さい子にやさしく接することができるようになる。	優しさを表現できた場面では具体的に褒め、見本となる行動と一緒に考える。
19	自分の意見と違う時も落ち着いて対応できるようになる。	意見の違いがある時は「そうなんだね」と一度受け止めてから伝える練習をする。
20	周りが騒がしい時も冷静に待つことができるようになる。	静かに待つ場面を日常的に設け、できた時には具体的な言葉で認める。

21	他の人の成功や失敗と一緒に喜んだり、励ましたりできるようになる。	成功や失敗をみんなで共有し、声かけや拍手を習慣化する。
22	グループで決めごとを話し合い、みんなでルールを作れるようになる。	ルール作りの話し合いを頻繁に行い、自分の意見も伝えられる場を作る。
23	友達の気持ちを考えて行動できるようになる。	気持ちを想像するカードやストーリーを用いて、「どう思う？」と考える機会を増やす。
24	嫌なことをされた時、すぐに大人や先生に伝えられるようになる。	困った時や嫌な時にすぐに大人や先生に伝える練習を繰り返す。
25	自分の得意なことや役割をみんなの前で発表できるようになる。	発表タイムを設けて、自分の得意なことや役割をみんなに伝える機会を増やす。
26	みんなの前で自分の考えや体験を話すことができるようになる。	発表の前に練習や励ましの声かけを行い、安心して話せる雰囲気をつくる。
27	友達や大人と意見が違っても落ち着いて対話できるようになる。	違う意見を伝える時も「そうなんだね」と一度受け止めてから自分の意見を言う練習をする。
28	グループの活動中に困っている友達に自然に手助けできるようになる。	友達の困りごとに気づいたら「手伝おうか？」と声をかける経験を増やす。
29	順番を譲ったり、他の子に配慮した行動ができるようになる。	順番や譲り合いの場面で具体的な褒め言葉をかけ、模範となる行動を紹介する。
30	けんかをした後、自分から仲直りの言葉をかけられるようになる。	けんかの後に「ごめんね」「また遊ぼう」と言う練習をロールプレイで行う。
31	集団の中で自分の居場所や役割を見つけて安心して過ごせるようになる。	活動前に「どんな役割がある？」と一緒に確認し、自信が持てるように声かけする。
32	初めての場所や人にも臆せず自分からあいさつできるようになる。	初対面の場面ではあいさつゲームや自己紹介タイムを取り入れて経験を増やす。
33	自分の苦手なことや困っていることを友達や大人に伝えられるようになる。	困っていることを言いやすい雰囲気づくりと、職員からの声かけを工夫する。
34	友達が嫌がる行動に気づき、やめることができるようになる。	嫌な行動が見られた時は理由を一緒に考え、他の方法を提案する。
35	他の子の気持ちを考えて発言や行動を選べるようになる。	「相手はどう思うかな？」と質問しながら行動選択の練習を行う。
36	グループで意見がまとまらない時も、みんなで相談できるようになる。	話し合いの時は一人ずつ意見を発表しやすい環境を整える。
37	集団遊びのルール変更やトラブル時に、解決策をみんなで考えられるようになる。	トラブル時には全員で意見を出し合い解決策を探す場をつくる。
38	相手の立場や気持ちに立って考え、共感の言葉をかけられるようになる。	共感場面のストーリーや劇遊びを活用し、「どんな気持ちかな？」と問いかける。
39	仲間に入れてほしい時や遊びたい時に自分から声をかけられるようになる。	仲間に入れてほしい時の言葉やタイミングを遊びやロールプレイで練習する。
40	集団生活の中で我慢が必要な場面でも冷静に過ごせるようになる。	我慢が必要な場面では「あと何分」「順番が来たらね」など見通しを伝える。
41	友達と意見が合わない時、暴言や強い言葉を使わず伝えられるようになる。	言い方や表現を練習する時間を作り、感情を言葉で伝える経験を増やす。

42	お誕生日会やイベントで友達のお祝いの言葉を言えるようになる。	お祝いの場面を日常に取り入れ、みんなで拍手や言葉をかけ合う時間をつくる。
43	遊びや活動の計画をみんなで相談し合いながら進められるようになる。	計画立てや相談の場を意図的に設け、役割や希望を話し合う練習を増やす。
44	誰かが悲しい気持ちの時、励ましや寄り添いの言葉をかけられるようになる。	励ましや共感の言葉をロールプレイや劇で日常的に練習する。
45	トラブルが起きた時、自分だけでなく相手の立場も考えて行動できるようになる。	トラブルが起きた時は両者の立場や気持ちを振り返る時間を必ず設ける。
46	集団の中で自分の希望を言いながら、全体の意見も尊重できるようになる。	全体での話し合いの際に一人一人の意見を尊重し、発言機会を均等にする。
47	グループでの発表や共同制作に積極的に参加できるようになる。	グループ活動の準備や進行に積極的に関わる場面を増やす。
48	お互いにルールを守る大切さを理解し、友達にも伝えられるようになる。	ルール大切さを絵本やストーリーで伝え、守れた時に具体的に誉める。
49	友達との活動で楽しかったことやうれしかったことを言葉で伝えられるようになる。	活動の終わりに「今日楽しかったこと」を発表する時間を持つ。
50	協力や分担の必要性を理解し、グループの中で自分の役割を果たせるようになる。	役割分担の必要性をグループ活動やごっこ遊びの中で体験的に伝える。